

高校図書館による企画

知ってる？高校図書館

1. 企画趣旨

「図書館と県民のつどい埼玉2014」のテーマーみんなが「図書館」でつながる日に基づき、高校図書館部会では、企画名を「知ってる？高校図書館」とし、高校図書館の日常や活動を身近に感じてもらえるような企画とすることになりました。

2. 運営

埼玉県高等学校図書館研究会（高図研）で実行委員を募集し、4名の実行委員を中心に準備を進めました。実行委員の他、次のように企画や装飾の担当を依頼しました。

・司書のイチオシ本担当

保かおり（大宮中央）玉井敦（春日部東）

・手作りエコバッグ担当

加々美祐江（浦和北）

・会場装飾担当

横山史江（越谷総合技術）

石野洋子（吉川美南）

また、実行委員会等は、次のように行われました。

・第1回企画委員会：5月9日（金）県立浦和図書館

・埼玉県図書館協会総会：6月13日（金）埼玉会館 ※「図書館と県民のつどい埼玉2014」開催要項承認

・第1回実行委員会（3部会合同・高校図書館部会）：6月25日（水）さいたま文学館

・第2回実行委員会：7月22日（火）草加東高校

・第1回企画・広報部会：7月29日（火）県立浦和図書館

・第3回実行委員会：9月12日（金）熊谷商業高校

・第4回実行委員会：10月22日（水）栗橋北彩高校

・第2回企画・広報部会：11月5日（水）県立浦和図書館

・第5回実行委員会：11月26日（水）さいたま文学館

・前日準備：12月13日（土）

・当日：12月14日（日）

・第6回実行委員会：2015年1月23日（金）北本高校

・第3回企画・広報部会：2015年2月25日（水）県立浦和図書館

・第2回企画委員会：2015年3月6日（金）県立浦和図書館

◇前日準備

実行委員4名と企画・装飾担当を加えた前日準備スタッフ8名で、各企画と装飾の準備を行いました。

公共図書館部会・高校図書館部会合同打ち合わせ

全体打ち合わせ

高校図書館部会打ち合わせ

車から荷物搬入

備品移動

担当ごとに会場設営・展示・装飾

◇当日

高校図書館部会の実行委員4名、企画・装飾担当を加えた当日スタッフ11名、記念講演・ビブリオバトル担当の実行委員1名、当日スタッフ5名、高校は総勢21名で対応しました。

公共図書館部会・高校図書館部会合同打ち合わせ

全体打ち合わせ

高校図書館部会打ち合わせ

係ごとの打ち合わせ・準備

担当係

(1) 案内・受付

(2) クリスマスコーナー (3) 写真

- (4) 手作りエコバッグ (5) 展示案内
 - (6) 誘導
 - (7) お弁当・駐車券・テーブルクロス
- 全体打ち合わせ

後片付け

車へ荷物搬出 車で搬出

◇会場装飾

会場装飾のローズウィンドウはプチホールの内と外を幻想的に彩り、ステンドグラス(熊谷女子高校図書委員会制作)と共に、来場者の目を引いていました。

3. 企画

(1) 高校生おすすめ本 POP 展

事前に何回も熱心に呼び掛けた結果、300枚程の高校生が作成した POP が集まり、本と共に展示しました。

辻村深月さんの POP もたくさん集まりました。

嬉しい反面、膨大な数の POP を前に展示方法など頭を悩ませることになりました。大まかな配置だけ決めておき、細部は前日準備の場でスタッフと相談しつつ作り上げる手法を取り、無事、集まった POP 全点展示を実現しました。

効果的な展示と POP を作成した高校生のエネルギーが迫力ある空間を創り出し、来場者にも大変好評でした。熱心に見ていた方の中には、POP を提供してくれた高校生や、授業で POP を作るという大学生もいて、やはり同世代が作った POP は興味深いようでした。他にも時間をかけて見てくださる方は多く、小中学校の司書の方たちは特に丁寧に見ていました。

生徒の表現力には感心するばかりで、読書離れが懸念される昨今ではありますが、力作揃いの POP は希望を感じさせてくれるものでした。

(2) 高校図書館の広報紙

こちらは何度も熱心に呼び掛け、今年作

成された45校161点の広報紙が集まりました。「図書館だより&新着図書案内」「図書館報」「利用案内」「おすすめ本リスト」の4種類に分け、パネルに掲示したり、机上に並べて手に取れるようにしました。多くの広報紙を提供していただいたお陰で、見応えある展示となりました。もう少し展示に工夫をしたかったのですが、様々な広報紙を目にすることができて、担当者にとっても勉強になりました。

(3) 高校図書館の風景(写真展)

熱心な呼び掛けにより、今年撮った25校223点の写真が集まりました。4つのテーマ「高校図書館の授業風景」「昼休み・放課後の風景」「生徒と図書館をつなぐ図書委員会」「見てみて司書のひと工夫」ごとに展示しました。パネル掲示のほか、テーマ別にアルバムに入れて見てもらいました。今年撮られた写真だけを集めたので、高校図書館の今の姿を知ってもらえ、良かったと思います。

全ての写真に目を通す方、写真を見て盛り上がっている方たち、一人でここにきて写真を眺める方など、来場者の皆さんの反応を直に見ることができて、幸せな気分になりました。

(4) クリスマスコーナー(折り紙体験)

絵本など見て楽しい本、楽しく過ごせる本を中心に、クリスマスの本を展示しました。

体験型企画の折り紙で作るサンタクロースとクリスマスリースは、作ったサンタとリースを合体させるなど個性的に仕上げる方もいて、大人にも子どもにも楽しんでもらえたようです。大人の方は、展示に使う、子どもと作るなど、実用性を求めて参加する方も多かったです。

(5) 司書のイチオシ本展示

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2013年版を展示しました。

第1位は、辻村深月さんの『島はぼくらと』展示は工夫され、配付用パンフレットもた

高校図書館による企画

くさん用意してありました。

毎回どんな本が選ばれるのか楽しみにしている方もいました。

(6) 埼玉県推奨図書展示

平成26年度埼玉県推奨図書を県青少年課と協力して展示。

【高校・青年向け】の1冊に、辻村深月さんの『島はぼくら』

昨年の来場者の要望を取り入れ、推奨図書以外の推薦図書やこどもの本のブックガイドのファイルも用意しました。また、読み聞かせの本も展示しました。公共図書館の協力により、こどもの本のブックガイドを配付しましたが、見る間に残り少なくなっていました。

(7) 手作りエコバッグプレゼント

エコバッグの材料は、絵本カバー・カレンダー・新聞を再利用しました。各校よりエコバッグの材料の提供があり、司書や図書委員の協力で、図柄の出し方に個性が光る素敵なバッグがたくさん集まりました。前日準備の時には、和気藹々とバッグを仕上げる姿が見られました。毎年恒例のこの企画を楽しみにしている方が少なからずいました。図書館関係者の来場者が多いせいか、エコバッグの作り方の資料はあっという間に無くなりました。

4. 終わりに

記念講演後、講師の辻村深月さんが来場され、たくさん展示してある御自身の著作やPOPを嬉しそうにじっくり見てくださり、エコバッグをお持ち帰りいただきました。

◇来場者の質問より

- ・グッズはどこで売っているのか。
- ・エコバッグは誰が作ったのか。
- 1つ作るのにどれくらい時間がかかるか。
- ・高校図書館ではどんな本が人気なのか。
- ・高校生の図書館利用率はどれくらいか。
- ・公共図書館との違いについて (ヤングアダ

ルトの扱いはどうしているのか。)

・司書になりたいので何かアドバイスはないか。(大学生からの質問)

◇スタッフアンケートより

・高校図書館と公共図書館のコラボレーション企画がもっとあって良いと思います。せっかく両者が介する数少ない機会ですので。

・展示スペースのアンケートが高校図書館側のものしかなかったことも気になりました。こちらも公共と合同で採った方が良かったのではないのでしょうか?おそらく、参加者の方も混乱したと思います。

・アンケートを入口で配るとすれば、プチホール全体に対するものにする。

・少々テーブルが増えすぎ、通路が狭くなっている箇所があったように思う。

・場所によって、展示を見るには少々照明が暗い箇所があった。

・プチホール内の高校と公共の区分をもう少しわかりやすくしたい。

(例) 入口の看板に簡単な案内図(右側が公共で左側が高校とわかる図)を置く。

以上のように、反省点や今後の課題はありますが、今後共、事務局や公共図書館部会、大学図書館部会等と連携し、次回につなげていければと思います。

最後になりましたが、様々な形でお世話になりました皆様方、ありがとうございました。



プチホール 会場図

